

# きらら通信

こちら校長室



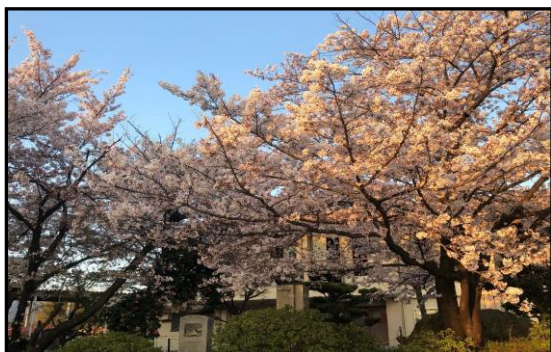
令和2年度

令和2年4月28日  
京都市立修学院小学校  
校長 村山 雅彦  
TEL : 075-781-4439

## 正しく 楽しく たくましく

～他者との協働的な活動を通して 自らの考えを深め 学んだことを活用しようとする子どもの育成～

花吹雪が去っていったと思えば、すぐに一年で最も爽やかなころとなりました。日の光がきらきらと煌めいて見えます。山々は、とても緑が映え、生命の息吹を感じる季節となりました。多くの教職員がかわり、新入生116名を迎え、新年度がスタートして1か月。まだまだ感染拡大防止に先行きが見通せず、不安な毎日が続きますが、ゴールデンウィークの期間を活用し、連休明け、気持ちも新たにスタートが切れることを願っております。



さて、今年度の学校教育目標は、  
「正しく 楽しく たくましく」～他者との協働的な活動を通して 自らの考えを深め 学んだことを活用しようとする子どもの育成～としました。

□正しく（豊かな心）…**徳**

互いの生き方や価値観を認め合い、対話を通じて、自分も人も大切にし、生き生きと学び、子どもたち同士に望ましい人間関係を育みます。

□楽しく（確かな学力）…**知**

主体的、対話的に学習し、基礎基本の知識・技能の習得はもちろん、分かる喜びや学ぶ楽しさを友達とともに実感できる授業づくりに努めます。

□たくましく（健やかな体）…**体**

自ら安全な行動をとり、自分の身は自分で守る子どもを育みます。また、失敗しても成功するまでねばり強く取り組むことができる子どもを育みます。

以上の学校教育目標達成に向けては、誰もが、自らの能力を最大限に発揮することができる学級経営が基盤となります。誰もが安心して過ごしやすい学級にしていくため、「〇〇してはいけない」ではなく、「〇〇にしていこう」というプラス思考を大切にします。友達のよさに学んだり、がんばりを認めたりできる態度は、互いに高め合う仲間づくりにつながります。そんなクラスでは、きっと、「何度でもやってみよう」という気持ちにもなれると思います。「まずやってみる」という思いにさせてくれる、そんな仲間づくりを大切にする人権尊重を基盤とした学級経営に努めます。

具体的には、以下の5つのめざす子ども像を掲げています。

◇自分自身に自信の持てる子ども

（自尊感情の高揚）

◇友だちの良さを見つけることができる子ども（共感的他者理解）

◇目標に向かってねばり強く努力することができる子ども（根気力）

◇周りの人々に感謝の気持ちを表すことができる子ども（感謝の心）

◇みんなと共に高まろうとする子ども（仲間づくり）

# 5月3日は憲法記念日

## 国民主権

- 一人一人の意見を尊重し、一人一人が主人公になれる。
- ※ 一人一人が日本をよくしていくために、真剣に考え、その考えが生かされる社会にしていく。
- ⇒ クラスみんなが楽しく過ごすためには、どうすればよいかを一人一人が自分のことのみならず、全体のことを考えて意見を出す。
- ◇ 一人一人が主人公・責任ある一言を・みんなで決める

決めたことは守る！

## 基本的人権の尊重

- 誰もが人間らしく楽しく生きること。
- ※ 誰もが生まれながらに人間らしく生きていく権利を持っている。
- ⇒ クラスの中で、自分の能力をたくさん発揮できる、そんな楽しいクラスをみんなで作っていく。「自分が楽しい時は、あなたも楽しい。」という状況を当たり前に作る。
- ◇ 人にやさしい人間関係づくり・まずは人の話に耳を傾ける・ちがいを認める

ひとにやさしく！

## 平和主義

- 争いごとの解決の手段として武力・暴力は使用せず、平和的解決を進める。
- ※ 戦争の放棄。
- ⇒ 怒鳴ったり、叩いたり、蹴ったりすることによる解決を図らない。いつも、一人一人の意見を大切にし、話し合って進めていく。
- ◇ プラス思考・友達のいいところ見つけ・友達に共感して受け入れる

友達から学ぶ！

学校では、例年5月の朝会で全校児童に対して、日本国憲法の話を行います。憲法は、我々が住む日本の国の決め事（法律）の源にあたり、それは、私たちが暮らす町や学校とも深く関係しています。特に、三大原則である「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」については、日本の基調として、しっかり理解しておく必要があります。



子どもたちは、毎日、学校で生活しています。そして、その母体は学級です。よって、三大原則を学校生活のなかで考えていきたいと思っています。

自分のことも友達のことも大切にして、いることを学校生活全体で実感でき、みんながやさしく笑顔であふれる修学院小学校にしていきたいと考えております。